



# 埼玉縣立上尾高等学校

令和2年度 第6号 令和2年9月25日(金) 発行  
発行責任者 校長 林 昭雄

9月1日(火) **大学入学共通テスト説明会**が開かれ、198名の生徒が参加しました。高校生は在籍高校が一括して出願することになっていますので、23日(水)までに提出された**志願票**に申し込み番号を振り学校が発送します。志願票の確認ハガキが10月末ごろに学校に返送されることになっていますので、担任から生徒に配布します。

大学入試に向けた**模擬試験**が頻繁に行われるようになりました。受験して終わりではなく、間違えた問題を繰り返し解きなおすことが大切です。判定に一喜一憂せず、目標に向かって一歩ずつ歩みを進めて欲しいと思います。自宅で勉強をしていれば何の心配もありませんが、**朝早めに登校して学習する生徒、英単語や参考書を片手に登校する3年生**が昨年より減っているのが気になります。

9月8日(火) **就職希望先が決まり**、生徒たちは志望動機を固め、たくさんの先生方と**面接の練習**をしています。今月末には書類を送り来月に就職試験を受けることになります。

9月11日(金)には、**生徒会役員選挙**が行われ、生徒会長や新役員が決まりました。学校をよくしたいという思いを抱いており、VISIONを共有しながら、学校づくりを進めていきます。

9月16日(水)には、**指定校推薦の選考会議**が開かれました。私立大学・短期大学、看護専門学校、国公立大学人数制限公募推薦に104名が内定しました。大学入学共通テストの開始やコロナ禍での進学を考えた結果なのでしょうか、昨年度内定者の67人を大きく上回る内定者となりました。それぞれの学校への出願が許可された生徒を対象に17日(木)に出願や受験準備などについて指導がありました。指定校推薦枠は、上尾高校の先輩方が一般受験合格、そして入学後の学業への取り組みが優秀であると大学から評価さ

れた結果、現在指定校推薦枠として存在しています。後輩たちへ引き継げるかどうか、その意思確認も行われました。昨今は指定校であっても大学側が改めて選考もしますし、不合格になる場合も出てきました。気を引き締めて臨んで欲しいと思います。

コロナ禍を受けて文部科学省は6月、各大学に対し、来春入学者向けの個別試験では、試験会場の「3密」回避や、実技試験などでの飛沫(ひまつ)感染の対策などを求めました。また、学生を集めずに済む**オンライン面接**や、**実技動画の提出**などの方法も推奨されています。国公立の768大学を対象に、6~8月緊急調査が行われ、回答した643大学(回答率84%)のうち「実施方法」を「変更・変更予定」とした大学は、総合型選抜や学校推薦型選抜(旧推薦入試)を中心に、少なくとも106校に上っているという情報もあります。**例年と違う方法での選抜**が実施される大学等もありますので、こまめな**情報収集**が必要です。英語民間試験の活用見送りなどで大揺れしてきた新入試。未曾有のコロナ禍という不安要素を抱え、先頭を切って、総合型選抜(旧AO入試)の出願が始まります。

**校内**では、文化祭・体育祭を中止とさせていただきますが、「文化祭部門」「体育祭部門」「生徒会企画」の3つのパートを各学年がローテーションしながら、「3密」リスクをできるだけ軽減した方法で行う**代替の行事を10月29日(木)に実施**できるよう生徒たちは企画中です。時間的制約がある中、各クラス実行委員が中心となり活動を始めています。

また、8月25日から2学期が始まった今年度は、**中間考査までの期間が例年より長く**、その分試験範囲も広がります。日頃からの学習への取り組みがより大切になってきます。